（様式１）

県立結城第一高等学校【総合的な探究の時間の全体計画】（令和７年度）

総合的な探究の時間の第１の目標

探究の見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な探究を行うことを通して、自己の在り方生き方を考えながら、よりよく課題を発見し解決していくための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1) 探究の過程において、課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究の意義や価値を理解するようにする。
(2) 実社会や実生活と自己との関わりから問いを見いだし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。
(3) 探究に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、新たな価値を創造し、よりよい社会を実現しようとする態度を養う。

学校の教育目標

校訓「自彊不息」（じきょうやまず：自ら努めて励み、事に当たっては全力を尽くして怠らないこと）を精神的支柱とし、知育・徳育・体育の健やかな成長を図り、社会性や公共心を備えた地域社会に貢献できる有為な人材の育成に努める。

(1) 教育内容や指導方法等の工夫・改善により基礎・基本の確実な定着を図るとともに、自ら学び自ら考え実践する力を育成する学校
(2) 基本的生活習慣の確立を図るとともに、道徳教育・特別活動等を通して、規範意識や豊かな心を育成する学校
(3) 特別活動や体験学習等の活性化により、健やかな心身を育成する学校
(4) 生徒一人一人の望ましい勤労観・職業観の醸成を図り、希望進路の実現を目指す学校
(5) 「開かれた学校」を目指し、保護者・地域社会等と連携・協力しながら、教育活動の改善・充実を図る学校
(6) 帰国・外国人生徒への教育の充実を図るとともに、日本文化や異文化への理解を深め、国際感覚豊かな人材を育成する学校

各学校で定める目標と育成する資質・能力

・３つのマナー（時間・場所・場面）の定着を図るとともに、豊かな心や健やかな体を育てる。
・他者との協働・協調の精神を涵養し、高校生として必要なコミュニケーション能力を育成する。
・新しい自分を発見することで自己肯定感を高め、自ら学び向上する態度を身に付ける。
・明確な進路実現のために、勤労観・職業観を高めながら、進路マネージメントを育成する。
・地域の題材から課題を見出し、他者とともに解決に向け考える力を養う。

（１）（知識・技能）
自分を客観的に見る力、コミュニケーション能力、他者を尊重する態度、職業等についての基礎知識、他者とともに課題を発見し解決する力

（２）（思考力・判断力・表現力）
組織や社会における規範や法を理解し、積極的に社会参加する態度を養う。自己理解を深化させ、自発的に進路選択を行うことができる。自分の考えを的確に相手に伝えることができる。

（３）（学びに向かう力、人間性等）
他者と協働しながら多様な課題を整理するとともに自己肯定感を養い、自らの進路を主体に進めるなど、学びに向かう態度を養う。

総合的な探究の時間の学習評価

（１） プログラムごとに生徒が計画書、振り返りシートを記入し、その取組状況評価する。
（２）作成した資料・ポスターおよび発表のパフォーマンスを評価する。
（３）（１）（２）について、探究活動委員会や定例の学年会において、学習活動の評価観点や指導上の課題を共有する。
※ 生徒による授業評価と保護者によるアンケート調査（12 月）を行い、授業改善の及び指導力向上を図る。

生徒の実態

基本的生活習慣の確立と、コミュニケーション能力の向上を目標に、日々努力を続けている。多くの国から生徒が集まっているが、人種や国籍による差別は無く生活をしている。高校に進学してから、自分の適性を見出し、自分に合った場面で活躍できるようになった生徒が多い。

生徒の発達をどのように支援するか
○配慮を必要とする生徒への指導

・生徒一人一人の適性にあった教材・指導の工夫をする。
・外国人生徒や母語が日本語でない生徒への、生活・学習両面での配慮を行う。
・家庭および中学校との連携を密にし、学校全体で生徒支援等を充実させる。

目指す生徒の姿

・社会生活での規範を大切にし、豊かな心・健やかな体を持つ生徒
・自らすすんで学びに向かう生徒
・協働的に学習し、高い目標を持つ生徒
・課題を一つひとつ解決し、自己肯定感を高く持てる生徒
・進路を主体的に決定し、自分の未来を積極的に切り拓く生徒
・地域の課題を発見し、課題解決に向けて行動できる生徒

各学校が定める内容（目標を実現するにふさわしい探究課題、探究課題を通して育成を目指す具体的な資質・能力

【身近な課題に目を向け、解決の手立てを考え、実行する】

(1)（知識・技能）
「概念的な知識の獲得」、「自在に活用することが可能な技能の獲得」、「探究の意義や価値の理解」を目指す。

(2)（思考力・判断力・表現力）
課題の設定において
・複雑な問題状況の中から適切に課題を設定する
・仮説を立て、検証方法を考え、計画を立案する
情報の収集において
・目的に応じて手段を選択し、情報を収集する
・必要な情報を収集し、類別して蓄積する
整理・分析において
・複雑な問題状況における事実や関係を把握し、自分の考えをもつ
・視点を定めて多様な情報を分析する
・課題解決を目指して事象を比較したり、因果関係を推測したりして考える
まとめ・表現において
・相手や目的、意図に応じて論理的に表現する
・学習の仕方や進め方を振り返り、学校や生活に生かそうとする

(3)（学びに向かう力、人間性等）
自他を尊重し自ら取り組み、社会に寄与し貢献する姿勢を身につける。

学習活動、指導方法等

「今、求められる力を高める総合的な探究の時間の展開」（令和５年文科省）の方針に基づき、日常生活や社会に目を向け、生徒が自ら課題を設定し探究活動を進める。同じ方向性の課題を持つ生徒がグループを作って活動する。各グループには１人ずつ担当教員をつける（教員は数グループを担当する）。

探究活動は、「課題の設定」、「情報の収集」、「整理・分析」、「まとめ・表現」の過程の順に進め、「まとめ・表現」では全ての生徒が成果を発表する。

校内発表はポスター作成する形式で行い、ポスター作成やプレゼンテーションにおいて、グループの全員が何かの役割を担うこととする。また、学校連携型キャンパス制で連携している鬼怒商業高校と合同で「探究活動発表会」を実施する。

指導体制（環境整備、家庭・地域との連携）

探究活動委員会（７名）…新学習指導要領改定に向けた動向を注視しつつ、適宜内容や評価等の改善に取り組みながら、主に次の事業を行う。
（委員：教頭・主幹教諭・教務主任・進路指導部長・各学年探究担当教諭）

・なかまづくり活動（１年生５月・７月　２年生４月）…講師派遣依頼　各回２～３名
・インターンシップ（２年生 10 月）…近隣の事業所の協力により実施
・模擬面接（３年生７月）…進路支援企業に講師派遣依頼　４～５名
・つむぎ教室（１年生１月）…茨城県本場結城紬織物協同組合
・探究活動（各学年）…結城市商工観光課、結城市まちづくり協働課等と連携